

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和7年3月28日

施設名	高知県立森林研修センター情報交流館	所管課	林業振興・環境部 林業環境政策課
-----	-------------------	-----	------------------

1 施設の概要

指定管理者名	情報交流館ネットワーク	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80		
事業内容	(1) 森林及び木の文化に関する情報の収集及び提供並びに学習機会の提供 (2) 森林に関するボランティア活動等の支援 (3) 情報交流館の施設の利用の許可等に関する業務 (4) 利用料金の徴収に関する業務 (5) 情報交流館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (6) 情報交流館の利用促進に関する業務 (7) 前各号に掲げるもののほか、情報交流館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	木造平屋建609.35㎡(木工室(54㎡)、研修室(54㎡)、シアター室(54㎡)、企画展示室(49.5㎡)、事務室(49.91㎡)、便所など) 開館時間:午前9時から午後5時まで 休館日:①月曜日(その日が国民の休日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その日後の直近の休日以外の日)、②休日の翌日(その日が日曜日又は休日に当たるときを除く。)、③12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金:1時間につき、研修室・木工室・企画展示室300円(370円)、シアター630円(780円)、(())は休館日		
職員体制	常勤職員:3人 合計:3人(職員数は令和5年4月1日現在)		

2 収支の状況

単位:千円

		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
収入	県支出金	16,149	16,022	16,480
	利用料	127	117	120
	参加料	2,447	2,193	2,200
	交付金、助成金等	1,314	1,523	1,620
	その他	0	0	
	収入計 (a)	20,037	19,855	20,420
支出	事業費	3,724	3,471	3,940
	管理運営費	4,737	4,564	5,280
	人件費	11,066	11,190	11,200
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	19,527	19,225	20,420
収支差額 (a) - (b)		510	630	0

3 利用状況

	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	15,134	17,484	18,000
	職員派遣事業等により施設外での対応実績人数		
	2,886	3,498	3,500
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ・イベント、講座、学校対応等、全ての行事ごとにアンケートをとり、結果をスタッフで共有した。また、行事の終了後にミーティングを実施した。 ・施設内の巡回を行い、来館者の様子を観察し、必要に応じてコミュニケーションをとった。 ・職員が講座、イベント、学校対応、派遣事業等に参加し、直接利用者からのフィードバックを受ける機会を増やした。 ・学校等団体利用の際は事前打ち合わせを十分に行い、目的や要望を正確に把握した。また、活動中は先生、生徒と積極的にコミュニケーションをとった。 ○ 利用者意見等を踏まえた対策 ・要望や苦情に関しては、施設長判断で実施できるものは現場で対応し、それ以外については運営委員会や県と協議して対応している。 ・令和5年度については特に要望、苦情等の発生はなかった。		
③その他特記事項			

4 令和5年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	・職員が受ける内外部研修が充実しており評価できる。 ・利用者アンケートの分析をより詳しく行ってほしい。 ・防災訓練については年1回の実施なので、年2回の実施をお願いする。 ・熱中症対策についての意識をより高めても良いのではないかな。
②利用者サービスの維持向上	・利用者サービス向上の取り組みや季節のイベントについて、内容が良い。 ・令和5年度について新たなイベントが開かれており評価できる。 ・多様な方が利用される施設であるなか、どなたでも伸び伸びと自由に活動できる場となってきている兆しがあり、評価できる。 ・広報について、高知市内では東側に片寄っていると説明があり、高知市全体への広報を目指してほしい。また、今後はスポーツ等の多様な異業種へのアプローチがほしい。 ・防災と森林を関連付けたプログラムにも取り組みを広げていただきたい。
③利用実績	・令和5年度の年間利用者数は、昨年度実績15,134人に対して実績17,484人と大きく増加しており、評価できる。 ・新規の利用者をリピーターにつなげていく手法について、ノウハウが蓄積されており、評価できる。
④収支の状況	自主事業等による収入増に努めており、また経費の削減にも取り組んでいることから黒字収支となっており評価できる。
総合評価	A ・季節に合わせたイベント等、効果的な取り組みができている。 ・森林を通じた活動で、学校教育を補い、人間形成にもつなげていくという考え方で事業に取り組んでおり、評価できる。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの